

# 昭和五十五年度 農業賞決まる

昭和五十五年度の農業賞の授賞式が二月十六日午後一時から役場第二会議室で行われ、日ごろ経営の合理化に努力し、地域農業のリーダーとして活躍中の次の四名の方が受賞されました。



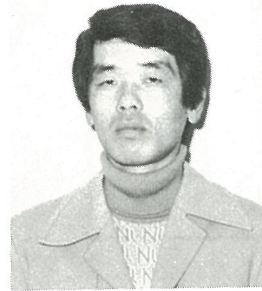
森 善 夫  
新井699

水田一〇八a、畑四十aを耕作しながら搾乳牛十二頭、育成牛三頭を常時飼育しており、戦後より水田酪農の光町の先覚者であり、地区のあんきよ排水事業の指導者でもあります。



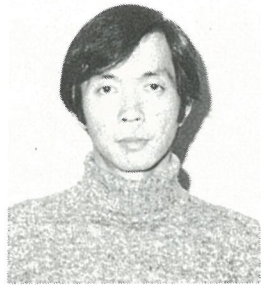
向 後 清 一  
宮川529

水田一〇〇aと露地野菜七〇aを耕作し、肥育牛二〇頭のふん尿処理は完全に畑地還元している。また、ワラ、野菜くず、雑草を取り入れ粗飼料の自給に努力しています。



鈴 木 茂 昭  
傍示戸266

水田一六七aと畑三十aを耕作しながら養豚の一貫経営に取り組み、一方青少年相談員として南条小の剣道の指導に当たり、青少年育成にも献身的努力をはらっています。



伊 藤 久  
尾垂12266

昭和四十八年から六六〇㎡のカーネーションの温室栽培を始め、現在大型ハウス六六〇㎡、ガラス温室五六〇㎡、普通ハウス六六〇㎡とし、東総花き園芸組合のトップクラスです。

# こんにちには……青年クラブ

今回は青年クラブにおじゃましました。現在会員数は四十名。毎月第一、第三水曜日の午後七時から町体育館で定例会を持ち、バレエ、バドミントンなどのスポーツを楽しんでいます。年間を通じてもオリエンテーリング、キャンプ、

ダンス講習会、クリスマスパーティー、スキーその他の行事をこなしています。会員の一人越川武俊君(篠原)にインタビューしてみました。「青年クラブですか、そりゃもちろん入ってよかったですよ。同じ年頃の仲間がたくさんできましたからね。先輩もできましたし、後輩もできましたし、それに僕達は年齢が同じか、趣味が同じでないかと友達にはなれないけど、青年クラブに入っていれば年齢の違う人も趣味の違う人もみんな

友達になれるから、それが一番いいですね。このクラブのよさをみんなに理解してもらって、たくさんの人に仲間になってもいいですね。みんなでわいわいやる、それだけでもいいじゃないですか。」越川君はこう語ってくれました。たしかに伸び盛りの青年にとって、年齢の違う人、趣味や考え方の違ういろいろな人と接し、吸収していくことはとても大事なことだと思います。

\* \*



写真はダンス講習会の一コマ